

平成22年度決算審査

平成22年度決算審査終わる！

本会議で認定 2億8,082万円の黒字

一般会計歳入 63億6,119万円 歳出 60億8,115万円

全会計歳入 70億1,472万円 歳出 67億3,390万円

決算審査特別委員会（6議員により構成）は、平成22年度一般会計並びに4特別会計の決算審査を3日間にわたり実施した。各会計全てが黒字決算となり、本町の健全な財政運営が確認できた。特に、22年度は低迷する経済の底上げをねらいとした国の経済対策予算が計上され、一定の経済効果があったとした。

決算審査Q&A

Q 農産物のブランド化に対する消費者の反応は。

A 現状ではかならずしも高い評価とは言えないが、他の手段と組み合わせ農業所得の向上に繋げたい。

Q 森づくり事業が進まないが。

A 木材価格の低迷、後継者不足が要因。国は造林事業に手厚い支援を実施しており、森林組合が核となり推進に努めている。

Q 商工振興予算が少ないのでは。

A 商店街の近代化を実施し数年が経過した。近隣市へ的大型店舗進出もあり依然として厳しい環境下にある。町は商工会に年900万円、設備投資や経営資金への利子補給を行っている。商工業者自らの努力も期待する。

Q 本町の観光イベント開催日が近隣市町のイベント日と重なるのは疑問。

A 中空知広域圏組合においても話題となるが未だ調整が進んでいない。

Q 農村部で不法投棄が増加しているが。

A 禁止を呼び掛ける看板を設置し、安全安心推進協議会の協力を得て、パトロールを強化している。



不法投棄防止のための看板

Q 高齢者緊急通報システムの実態は。

A 現状は60戸。設置は個人

の希望となるが、民生委員を通じ周知啓発を行っている。

Q 特定健康診断の状況は。

A 最終目標は65%、現在は40%台で推移している。

Q 予防費の執行残が多いが。

A インフルエンザ予防接種、子宮頸がん、ヒブワクチン接種希望者が見込みより少なかった。

Q 図書館で情報を得たいと思ったが該当する本がない。

A 需要の多い本を優先し購入している。図書館にない本であっても他図書館から借りることが可能であり、司書に相談願いたい。

Q 獅子神楽の伝承活動に携わる人数と指導者育成は。

A 指導者、小学校の特別クラブ員あわせて42人。獅子神楽保存会会員の声かけ活動による若年層の勧誘に期待したい。